

○10月3日に開催した第2回道路メンテナンス会議において、メンテナンスサイクルを適切に回すため、優先順位を勘案した5年に1回の近接目視による「今後5年間の点検計画」の策定を要請。

○今回、要請に基づき各道路管理者が策定した5年間(H26～H30)の点検計画をとりまとめ、確認。

○点検計画を策定した道路構造物は、道路橋、道路トンネル、シェッド、大型カルバート、門型標識、横断歩道橋の計6施設。

○このうち、施設数も多く、重要構造物である道路橋について会議後に公表予定。